

普及モデル開発地域協議会 普及モデル応募シート

提出日 平成 23年 11月 11日

| 項目 | 記入事項 | 備考 |
|-------------------------------|--|----|
| 協議会名称 | 自然エネルギー長野北信地域協議会 | |
| 代表者氏名 | 会長 松岡 保正 | |
| 担当者氏名 | 事務局長 NPO法人CO2バンク推進機構 宮入 賢一郎 | |
| 電話 | 026-285-5370 | |
| f a x | 026-254-7301 | |
| メール | co2bank@nifty.com | |
| 携帯電話 | 090-3143-3329 | |
| 事業名 | 自然エネルギーの普及に資する新しい文化・教育・普及啓発事業 | |
| 添付資料 | 普及モデル事業計画、普及モデル予算計画、運営組織体制などがわかる資料 | |
| 該当する普及モデル | <input type="checkbox"/> ①地域の関係者が主体的に参加、連携、協働することにより立ち上げられる自然エネルギーのビジネスモデル <input type="checkbox"/> ②自然エネルギーの実施を通じ温室効果ガスの削減に加え、他の社会的課題の解決や持続可能な地域づくりに資する自然エネルギー事業 <input type="checkbox"/> ③採算性のとれる事業であって、他地域への普及可能性のある新しい自然エネルギーのビジネスモデル <input type="checkbox"/> ④地域の自然エネルギーの取り組みを支援する中間支援組織のモデル <input type="checkbox"/> ⑤地域の自然エネルギーの取り組みを支援するファイナンスの仕組みづくり <input checked="" type="checkbox"/> ⑥自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくり又はライフスタイルのモデル事業 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦自然エネルギーの普及に資する新しい文化・教育・普及啓発の事業モデル | |
| チェックリスト ※提出時に自己チェックしてください。 | <input checked="" type="checkbox"/> 地域協議会は、意思決定・運営に係る規約、事業計画、予算計画、役員（監事を含む。）を有するなど、独立した運営ができるものであること。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域協議会は、協議会の運営、資金管理、報告書作成等を担う事務局を有すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 今年度の普及モデルの開発を含む事業計画案、予算計画案を提出すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 当該普及モデルに関して他の補助金等を受けていないこと。 <input checked="" type="checkbox"/> 市民団体、企業、行政、大学等の参加など「新たな公共」を担うに足る関係者の参画、協力が得られる組織であること。 | |

(別紙)

自然エネルギーの普及に資する新しい文化・教育・普及啓発事業計画（案）

(1) 普及啓発モデル事業の目的

本モデル事業は、「地域での自然エネルギー利用」または「少ないエネルギーでの豊かな暮らし」の実現可能性について、実体験の場を通じて地域（長野・北信地域市民）におけるより多くの一般消費者の認知度を上げることを目的とし、「できるところから始める」自然エネルギー利用者を発掘して、これからの自然エネルギー市場の育成につなげていく。

また、実際の製品や技術に身近に触れることによって、新たなライフスタイルのひとつアイテムとして自然エネルギーを定着させ、さらに実際の自然エネルギーの調達を支援できるような循環型モデルへの発展性を検討する。

(2) 事業の概要

長野・北信における複数の情報発信拠点にて、自然エネルギーのわかりやすい展示、実物に触れたり、バイオマス燃料をはじめとするメイドイン信州のエネルギー利用の具体例を提示・展示し、誰もが参加できる展示コーナーの検討や体験型セミナーを実施する。

<情報発信拠点のイメージ>

- ・地域の拠点となっている情報センターや交流拠点など＝常設型コーナー
- ・信州環境フェア、長野環境フェア、ながのアースデイなどの地域イベント＝移動ブース
- ・モデルハウス、住宅展示場＝新たなライフスタイルの展示 など

<展示物、体験セミナーのイメージ>

- ・信州および長野・北信地域の自然エネルギーについて 【概要パネル】
- ・信州型ペレットストーブの展示と説明
- ・信州産ペレットの紹介、販売
- ・信州の木材に適した薪ストーブの展示と説明
- ・中古薪ストーブの情報提供
- ・小型ソーラーパネル利用事例 実物展示・体験コーナー
- ・パッシブソーラーハウスや地下熱空調システムの紹介
- ・小水力発電所の取組み紹介 など

単に機能の説明にとどまらず、森林の循環再生や中山間地と市街地の交流の重要性、CO2削減につながることをわかりやすく伝え、自然エネルギー利用の魅力を伝える。

また、長野北信地域における薪ストーブ、ペレットストーブ事業者や省エネ住宅、自然エネルギーを手がけるハウスメーカーや電気関連業者とも連携し普及啓発を進めることで、市場拡大への相乗的な波及効果を狙う。

<普及モデルのイメージ>

- ・県下各地に発展できる情報発信、体験コーナーのモデルを構築する。
- ・普及啓発拠点において、自然エネルギーの相談コーナー、提供者と消費者のマッチングな

- ど、自然エネルギーの地産地消をコーディネートする場づくりのモデルを検討する。
- ・地域通貨やカーボンオフセット、市民出資など、地域住民にとって新たな仕組みを分かりやすく情報提供するモデルを検討する。

(3) 運営組織体制

- ・代表：宮入賢一郎
- ・企画・コーディネーター：小田切奈々子、大日方聰夫

(4) 予算計画（概算）

| 項目 | 金額 | 備考 |
|---------|-----------|-------|
| 支援希望額 | | |
| 展示物制作費 | 150,000 円 | パネル製作 |
| チラシ印刷費 | 120,000 円 | |
| 報告書等印刷費 | 50,000 円 | |
| 合計 | 320,000 円 | |
| 自己資金 | | |
| 講師謝礼 | 10,000 円 | |
| その他 | 90,000 円 | |
| 自己資金合計 | 100,000 円 | |